

「中学生世代の新たな地域クラブ活動準備・推進計画（案）」パブリックコメントでいただいた意見に対する市の考え方

No.	該当箇所	意見	市の考え方
1	全般	<p>まず、教職員も多忙だが、働いている地域の方、保護者も多忙な中、日々の生活を送っていることを前提に考えてほしい。今以上の協力を求めるのなら、寄付金等でなく、確実性のある財源をもとに、報酬制度の体系を確立させるべき。不可能ならば信頼できる機関に業務委託すべき。また、クレーム対応、子どもの人間関係調整、指導者間の連携体制、指導経験希薄さ等の不安等、参加の足踏み要素をなくす手立てをしっかりと立てるべき。</p> <p>次に、子どもたちが変化の多さに疲れてしまうと思う。学校の統廃合、鳥羽東中学校校舎の改修、部活動制度の地域移行と1つが終わって、次にいくならまだしも、同時並行に物事を進めすぎではないか。例えば、現体制を維持して、役所等の球技経験者に土日部活動の補助に入ってもらい、統合や校舎改修が終わってから、地域に部活動への協力を求めるの順でもいいのではないか。</p> <p>最後に、いきなり地域に部活動を任せると、顧問等に子どもの人間関係等について忌憚のない意見が出ること、タブレット端末等の学校備品の紛失破損など、むしろ教職員の負担が増加してしまうのではないか。</p>	<p>貴重なご意見を頂戴し、ありがとうございました。</p> <p>この計画では、これまで培ってきた技術指導及び運営ノウハウを活かしていただきたく、スポーツ少年団を軸に体育協会や総合型地域スポーツクラブの間で競技主管団体を調整し、人材を確保していきたいと考えています。また指導者報酬は、参加費収入を基本に主管団体に調整いただくよう進めていきます。</p> <p>移行期間については、令和5年度から7年度までが「改革推進期間」とされているため、市としても国の示すスケジュールで、休日の活動から段階的に進めていきたいと考えています。</p> <p>また、地域クラブへと移行していく段階で、学校の顧問と地域クラブの指導者の間で、引継ぎおよび調整する期間を設け、不要なトラブルが生じないように推進していく予定です。</p>
2		<p>令和8年度中から取り組みを進めて行くということですが、さまざまな不安面が解消されないまま進めていくのはどうかなと思います。</p> <p>特に、離島に在住の保護者さんや生徒さんの負担が重くなるばかりではないでしょうか？ 経済的な面や時間の面においても、本土の生徒と離島の生徒の負担の差は開いていくばかりだと思います。</p> <p>それに、指導者の確保や現在あるクラブチームとの連携もハッキリと記されていないので、今すでにクラブチームに所属している生徒さんにも不安や疑問が生まれるのではないのでしょうか？</p> <p>個人的にクラブ活動の外部への移行は反対ではないですが、さまざまな不安面を解消しないまま実行されていくのは、少し不信感を感じます。</p>	<p>貴重なご意見を頂戴し、ありがとうございました。</p> <p>今回の準備・推進計画（案）は行動の大枠をまとめたものでございます。離島在住者に対する体制整備の詳細につきましては、令和6年度に離島で活動されている競技団体にご相談に伺い、そこで意見交換させていただきながら調整を進め、その内容をお伝えしていく予定です。また離島であるがゆえに生じる負担についても検討してまいります。</p>